

代表者 社長 岡村 昇

資本金 一千五百萬圓

事業種類 軌道交通業

企業系統 特記ノモノナシ

三、労働者側

労働者数 五百八十名
〔川越村山線 四三〇名
新宿線 一五〇名
一、事業運送手其他々等〕

労働組合 六十名 (川越村山線 三三〇名、新宿線 二七〇名)

四、労働組合

目下ナシ、但し元市電自治會西部支部アリタルカ自然消滅ノ状況ニアリ

四、労働組合

昭和四年十二月二十七日

五、労働組合

労働組合ニアリテハ主トシテ埼玉縣下川越府下高田馬場間(川越村山線)新宿荻窪間(新宿線)ニ於ケル電車運輸營業中ニアルカ一般財界ノ不況ノ影響ヲ蒙リ收益減少經營困難ノ状態ニ陥リタル為メ之レク打聞策トシテ豫算削減、經費節約ヲ為ス理由ノ下ニ本月二十日川越村山線従業員ニ對シテ従業員給付居レル

①宿泊料一夜一圓(月五回)ヲ之十錢トスルコト

②徹夜料一夜三十五錢ノ二十五錢トスルコト

③公休日、月四回ヲ三回トスルコト

④右ハ十二月三十一日(実施スルニシテ)

カ表表シタルニ依ル

六、要求事項及交渉状況

右表表ク受ケルカ一般従業員ニアリテハ、^{労働者側}状況ニ鑑ミ自重ノ態度ヲ持シ居タルカ

特ニ同線ニ於ケル車掌運轉手ノ以テハ、^{労働者側}學校出身者多ク同一合宿生活ヲ為シ居ルカ

アル關係上之レニ對スル不平等調子多ク、遂ニ二十七日午後一時、^{労働者側}所部徳川

數名本社ヲ訪問社長等ニ會見口頭ヲ以テ

①宿泊料公休日々從來有リトスルコト

②若シ不得止ル場合ハ一般公平ニナスコト

③要求シ出テタルカ社長ハ之レニ對シ現在ノ状態ニテハ東春マテハ如何トモ答ハ不能ハ

ス然レバ尚營業部長ノ意見クモ一應聽取マシメ度シト答フルカ従業員側ハ若

シ營業所長ニ於テ承認シタル場合社長ハ之レヲ承認スルヤト問答途中社長ハ

是用ニ依リ退席セル為メ止ムヲ得ヌ翌二十八日ヲ約シ退去セリ、而シテ一同引揚

協議ノ上改メテ